



ごあいさつ

平成も残すところあと僅かとなります。前回から一年しか経っていないにも関わらず、今年は印象深い一年となりました。

特に印象深いのが多くの自然災害でしょう。豪雨や地震、台風や猛暑と様々なことが思い起こされます。同時に世間ではたくさんのボランティア活動にも注目されていきました。わたしたちはたくさんの思いやりの中で生活していると深く感じる年でした。

上のお写真は、薬師如来様の両脇にいる日光菩薩さま月光菩薩さまです。わたしたちは日が昇ってから沈み、月が昇ってから陰るすべての時間で、常に見守られながら生活しております。人の喜びも悲しみもすべて受け止め、見守ってくれる。そんな存在がいらっしやるだけでわたしたちの心は温かくなって参ります。

災害で亡くなられた方たちのご冥福をお祈りすると共に、新年度での皆さんの健康とご多幸をお祈りしております。



坂東観音霊場巡拝結願

紅葉が映える秋空の下、長らく続いていた坂東観音霊場巡拝が結願を迎えました。実に始めてから五年も続いた巡拝になります。最終回となる今回の巡拝では千葉県寺院をまわりました。三十番高蔵寺、三十一番笠森寺、三十二番清水寺、三十三番那古寺です。

高蔵寺は高蔵観音とも呼ばれており、境内に入ると広く閑静な空間が広がっています。観音浄土界と地獄・極楽界めぐりと呼ばれるものもあり、参拝客を楽しませてくれました。

次の笠森寺は長い階段の先にありました。皆さん階段を上るのに大変苦労しており、登り切った先の境内で一休みした後、本堂への階段をさらに登り始めました。本堂は国の重要

文化財に相応しい威容をもって私たちに迎えてくれます。石山の上に建てられたその姿は私たちの記憶に鮮明に残りました。

清水寺は息の切れるような階段はありませんでしたが、緩やかな坂が高齢の方にとって辛そうな参道でした。日本に三つある清水寺の一つになります。仁王門にあった仁王像がユニークな顔で私たちを出迎えてくれました。

そして最後の那古寺になります。境内に入ると目立つところにカラフルな紐が張ってありました。ゴールテープの代わりであるみたいで、これで終わ

りと思うと感慨深いものがあります。

結願証明書を発行してもらう間、ご住職がお話しをしてくれました。巡拝を始めた時と終わりの時、気持ちを比べてみると違うものがあります。道中で感じた楽しさ、苦しさ、全てが等しく皆さんにとって宝物であるということですね。最後に集合写真(右上)を撮ります。最後に集合写真(右上)を撮って、坂東観音霊場巡拝は結願を迎えました。帰りのバスではほっとしたような、少し寂しいようなそんな感情に包まれました。それ以外にも、帰りの海ほたるで見た夕日に沈む富士山が声も出ないほどに美しかったのを覚えております。

また機会があれば是非皆さんとともに巡拝したいと思います。

時間が多く取れない中、積極的に参加して下さい。梅花講、写経会、お檀家様の皆様方に感謝御礼を申し上げます。と思います。



長光寺史の完成

東京の空襲などの影響で資料が不明になり、長らく作ることが出来なかった長光寺史がついに完成致しました。他県に足を運んだり、専門の方に調査してもらいながら、ようやく完成に漕ぎ着けることが出来ました。お檀家様には無料でお配りしておりますので、この機会に是非ともお受け取り下さい。



お塔婆申し込みが便利に

今まではFAXなどで申し込んで頂いておりましたが、長光寺のホームページからお塔婆を申し込むことが出来るようになりました。申し込んだ際は申し訳ありませんが、電話でご一報ください。

施食会のご案内

今年度も施食会が五月二十三日にございます。ご先祖様の供養のため、是非ともご参加下さい。

坐禅会のご案内

第一、三土曜日は経験者の坐禅会。第二土曜日は初心者坐禅会を開催しております。その他梅花講などもあります。詳しくはホームページをご覧ください。

編集後記

平成ももうすぐ終わりとなります。新しく年号が変わっても、変わらず精進していきたいと思えます。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

玉宵山 長光寺

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-5-2

TEL03-3209-5360 FAX03-3200-7026 HP <http://www.chokoji.net/>

